

# 坂城町障害者活躍推進計画

令和2年（2020年）3月

長野県坂城町

（総務課総務係）

機関名	坂城町
任命権者	坂城町長
計画の位置づけ	障害者の雇用の促進等に関する法律（令和元年法律第 36 号）による改正後の障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）第 7 条の 3 第 1 項の規定に基づく
計画期間	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日～令和 7 年（2024 年）3 月 3 1 日 （5 年間）
坂城町における障がい者雇用の状況	坂城町においては、令和元年 6 月 1 日現在、障がい者の法定雇用率を達成している状況である。
目標	
①採用に関する目標	<p>【実雇用率】（各年 6 月 1 日時点）</p> <p>目標（各年度）当該年 6 月 1 日時点の法定雇用率以上</p> <p>（参考）坂城町の実雇用率（令和元年 6 月 1 日現在）3.13% （法定雇用率 2.5%）</p> <p>（評価方法）毎年任免状況通報により把握・進捗管理するとともに、計画期間中の 5 年間、継続して法定雇用率を達成し続けることができるよう人事管理を行っていく。</p>
②定着に関する目標	<p>なし</p> <p>※障害者である職員の定着状況を把握する。</p>
③ワークエンゲージメント（仕事への積極的関与の状態）に関する目標	<p>【ワークエンゲージメント】</p> <p>目標 初年度の基準を上回る</p> <p>※初年度はアンケート調査等により、実態の把握を行う。</p> <p>（評価方法）毎年 4 月時点で在籍している障がい者（新規採用を除く）に対し、アンケート調査等に実施し、把握・進捗管理</p> <p>※ワークエンゲージメント（仕事への積極的関与の状態）・・・ 「仕事に誇りや、やりがいを感じている（熱意）、仕事に熱心に取り組んでいる（没頭）、仕事から活力を得ていきいきとしている（活力）」の 3 つが揃った状態として定義されるものであり、健康増進と生産性向上の両立に向けた概念</p>

取組内容	
1 障がい者の活躍を推進する体制整備	<p>○障害者雇用推進者として総務課長を選任する。</p> <p>○障害者職業生活相談員の選任義務の有無に関わらず、障がい者である職員の相談窓口を設定し、庁舎内掲示等により周知する。</p> <p>○障害者職業生活相談員の選任義務が生じた場合には、3ヶ月以内に選任するとともに、当該選任しようとするものが資格要件を満たさない場合には、労働局が開催する公務部門向け障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させる。</p>
2 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出	<p>○身体障がい等により従来の業務遂行が困難となった障がい者から相談があった場合は、労働局に相談しつつ、負担なく遂行できる職務の選定及び創出について検討する。</p>
3 障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理	<p>○相談窓口への相談のほか、人事評価面談の際、障がい者である職員に対しては、必要な配慮等の有無を把握することとし、その結果を踏まえて検討を行い、継続的に必要な措置を講じる。</p> <p>○なお、措置を講じるにあたっては、障がい者からの要望を踏まえつつ、過重な負担にならない範囲で適切に実施する。</p> <p>○募集・採用にあたっては、以下の取り扱いを行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の障害を排除し、又は特定の障害に限定する。</li> <li>・自力で通勤できることといった条件を設定する。</li> <li>・介助者なしで業務遂行が可能といった条件を設定する。</li> <li>・「就労支援機関に所属・登録しており、雇用期間中支援が受けられること」といった条件を設定する。</li> <li>・特定の就労支援機関からのみの受入を実施する。</li> </ul>
4 その他	<p>○国等による障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障がい者の活躍の場の拡大を推進する。</p>